

令和6年度 変更契約一覧表

番号	変更契約日	委託名	業者名	変更理由	現請負代金		変更後請負代金	増減額
					現委託期間		変更後委託期間	変更日数
1	令和6年9月20日	海岸漂着物処理業務委託	(有)サクホク 稚内市はまなす2丁目7番3号	令和6年9月19日付の稚生衛第1704号の通知により、処分場の変更を行う必要があることから、下記のとおり変更したい。 変更前 ・処理先 稚内市最終処理処分場 → 北緑芝建処理施設 ・処分料 50円/kg → 70円/kg 変更後	2,871,000	→	3,036,000	165,000
					令和6年9月30日	→		
2	令和6年9月27日	海岸漂着物処理業務委託	(有)サクホク 稚内市はまなす2丁目7番3号	概数の確定(処理数量)により変更したい。	3,036,000	→	2,739,000	-297,000
					令和6年9月30日	→		
3	令和6年10月21日	稚内港改修調査設計等業務委託	㈱クマシロシステム設計 札幌市中央区南1条西18丁目1番9号 KSフロンティアビル	補修範囲を選定するため、コンクリートコアを採取し、圧縮強度試験を行ったが、設計基準強度を満たしていない試供体が確認されたため、調査範囲を拡大し、追加のコンクリート調査を行いたい。 ・コンクリートコア採取及び試験 20箇所 → 30箇所	10,780,000	→	13,453,000	2,673,000
					令和6年11月29日	→		
4	令和6年11月12日	旭橋外1件整備設計業務委託	大日本ダイヤコンサルタント㈱ 北海道支社 札幌市北区北10条西2丁目13番地2	橋梁定期点検の結果、地覆・防護柵の劣化が進んでいることが判明したため、補修設計項目を追加したい。	8,767,000	→	8,943,000	176,000
					令和6年11月20日	→	令和6年12月20日	30日間
5	令和6年11月12日	緑6号橋外2件整備設計業務委託	大日本ダイヤコンサルタント㈱ 北海道支社 札幌市北区北10条西2丁目13番地2	・緑6号橋の橋梁定期点検の結果、伸縮装置及び地覆・防護柵の劣化が進んでいることが判明したため、補修設計項目を追加したい。 ・緑12号橋の橋梁定期点検の結果、地覆・防護柵の劣化が進んでいることが判明したため、補修設計項目を追加したい。	10,956,000	→	11,341,000	385,000
					令和6年11月20日	→	令和6年12月20日	30日間
6	令和6年11月25日	稚内港改修調査設計等業務委託	㈱クマシロシステム設計 札幌市中央区南1条西18丁目1番9号 KSフロンティアビル	設計図書と現地の不一致により、下記の通り変更したい。 ・コンクリートコア採取及び試験 30箇所→29箇所 また、追加の試験結果により補修範囲及び補修方法について再選定を行う必要があり、時間を要することから業務期間を延長したい。	13,453,000	→	13,211,000	-242,000
					令和6年11月29日	→	令和7年2月28日	91日間

7	令和6年12月10日	緑・富岡環状通街路家屋調査業務委託	(株)ズコーシャ網走支店 網走市大曲1丁目8番7号	本業務委託は、緑・富岡環状通街路整備工事による隣接家屋への影響を調査するために工事期間の振動調査及び家屋事前調査を実施するものであり、調査対象家屋は工事後1年以内であれば、家屋事後調査の実施を稚内市に要望することができる。 工事終了(11月末)時点で2県の家屋事後調査の要望があげられているため、本業務委託に家屋事後調査を追加し対応したい。	9,328,000	→	11,308,000	1,980,000
					令和6年12月20日	→	令和7年1月20日	31日間
8	令和6年12月13日	宝来地区配水管布設替実施設計業務委託	(株)ホクスイ設計コンサル 札幌市北区北6条西9丁目2番地	地質調査の結果、想定と異なる岩盤層が確認されたため、設計内容の再精査も必要となったことから、数量の変更及び工期の延長を行いたい。	13,794,000	→	14,916,000	1,122,000
					令和7年1月31日	→	令和7年2月28日	28日間
9	令和6年12月16日	海岸漂着物処理(その2)業務委託	(有)サクホク 稚内市はまなす2丁目7番3号	概数の確定により変更したい。	5,170,000	→	5,214,000	44,000
					令和6年12月20日	→		
10	令和7年2月19日	稚内港改修調査設計等業務委託	(株)クマンロシステム設計 札幌市中央区南1条西18丁目1番9号 KSフロンティアビル	設計対象施設である北ふ頭南岸壁Bにおいて、コンクリート強度試験を行った結果、全スパンにおいて設計基準強度を満たしていないことが確認され、部分補修による原形復旧が困難となった。 更なる調査及び検討に時間を要することから、下記のとおり変更したい。 ・基本断面算定 2施設 → 1施設(南岸壁Bの減) ・図面作成 2施設 → 1施設(南岸壁Bの減)	13,211,000	→	11,935,000	-1,276,000
					令和7年2月28日	→		
11	令和7年2月19日	稚内港脱炭素化推進計画策定業務委託	(株)クマンロシステム設計 札幌市中央区南1条西18丁目1番9号 KSフロンティアビル	温室効果ガスの排出量の推計において、マニュアルの改訂により計算方法が変更となり、既存の排出量データの再計算が必要となったことから下記のとおり変更したい。 ・温室効果ガスの排出量の推計の追加	7,040,000	→	7,997,000	957,000
					令和7年3月14日	→		

12	令和7年2月20日	大規模盛土造成地変動予測調査業務委託	大日本ダイヤコンサルタント(株) 北海道支社	<p>本業務は、令和2年度実施の大規模盛土造成地変動予測調査業務委託の成果から地震等発生時には影響が大きく優先度の高い地点について第二次スクリーニング調査を行い大規模盛土造成地の安全性を確認することを目的とした業務委託である。</p> <p>ボーリング調査において当初想定していた調査震度10mに対し盛土の深度が10m以下の地点及び10m以上の地点が確認された。標準貫入試験についても、当初想定していた調査震度9mに対し盛土の深度が9m以上の地点が確認された。また、新たに調査地点を追加したことに伴い下記の項目を変更したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦断測量費の増額 ・機械ボーリング費の増額 ・サウンディング及び原位置試験費の増額 ・土質試験費の増額 	→	16,720,000	21,604,000	4,884,000
					札幌市北区北10条西2丁目13番地2	令和7年10月31日	→	